

UNIMO 2

キッチンユニット収納 [ユニモ2]

取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム 中部営業チーム	TEL (087) 806-3660 TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3645 FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。

間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書に従わず取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。

■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

マークに関する説明事項

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次レベルで説明しています。		本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。	
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが死亡または重症を負うことが想定される危害の程度を示す。		「してはいけない」を示します。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。 (※1)傷害とは、治療入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさす。 (※2)物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。		「必ず行なっていたいただくこと」を示します。

警告

● **家電製品の設置基準を守って設置する。**

収納部で使用する家電製品は、各製品の取扱説明書に記載されている設置基準を守って配置してください。設置基準が守られていない場合、熱による変色・変形や発火などが発生するおそれがあります。

 **注意**

本製品は不燃・難燃・防熱・遮熱の仕様ではありませんので、家電製品の取り扱いには充分ご注意ください。

● **お子様を扉で遊ばせない。**

上レールにぶら下がったり、扉に乗ったり、乗ったまま開閉しないでください。扉が破損したり脱落してケガをするおそれがあります。親または監督者が幼児や子供に対し注意を促すとともに、教育や監督をしてください。

注意

● **製品に乗ったり、ぶら下がったりしない。**



棚板や引出し、スライドテーブルなどに乗らないでください。破損・転倒・落下してケガをするおそれがあります。

● **扉やすき間に指を入れない。**



扉と枠の間や扉と扉のすき間に手や指を入れないでください。扉の開閉時に手や指をはさんでケガをするおそれがあります。特に小さなお子様のいらっしゃるご家庭では、扉のすき間や扉とレール・床のすき間に手や指がはさまれる可能性がありますので十分にご注意ください。

● **扉には寄りかからない。**



扉に一定以上の負荷がかかると、扉が外れ破損による事故やケガのおそれがあります。

● **扉に強い衝撃を与えない。**



扉に物をぶつかけたり、ぶつかったりなど、強い衝撃を与えないでください。扉の破損による事故やケガのおそれがあります。

● **昇降ユニットに割れやすい食器や、ピンなどの不安定なもの、包丁・薬品などの危険なものを収納しない。**

落下による事故の原因になります。

● **昇降ユニット内の収納物を高さガイドバーより上へ出さない。**

落下・破損や事故の原因になります。

● **調理作業時などは昇降ユニットを降ろしたまま放置しない。**

頭などをぶつけるおそれがあります。

● **すべりやすい収納物を昇降ユニット内で横積みしない。**

すべり落ちるおそれがあります。

注意



● 扉・引出しの開閉はゆっくり行なう。

扉や引出しの開閉は静かに行なってください。扉や引出しが破損したり脱落してケガをするおそれがあります。また勢いよく開閉した場合、指や手、体の一部などをはさんだり激しく当たりケガをするおそれがあります。開閉に際しては周りに十分注意してゆっくり行なってください。特に小さなお子様には十分ご注意ください。



● 昇降ユニットのバネ切替えレバーは収納重量に対して適切にセットする。

昇降ユニットが勢いよく戻ったり急降下して、収納物が落下したり昇降ユニットが変形、落下しケガをするおそれがあります。



● 耐荷重の目安を必ず守る。

棚板に過度の重量物を置いたりすると、たわみ、変形が起こり、場合によっては落下してケガをするおそれがあります。
 (「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

ご使用上のお願い



● 家電製品を使用する場合は、必ずユニット前のアルミ引違戸を開けた状態で使用してください。



● フロアユニットのスライドテーブルで蒸気のでる家電製品などを使用する際は、トップユニットのスライドテーブルを完全に押し込んだ状態にしてください。



● 鍋や食器類などを濡れた状態で収納しない。

表面化粧のはがれや反りの原因となります。必ずよく乾燥させてから収納してください。

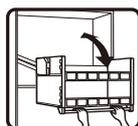


● 蒸気のでる家電製品などを使用する際は、スライドテーブルを必ず引出す。

蒸気のでる家電製品などを収納したまま使用しないでください。変形・変色の原因になります。

注意

- ガス炊飯器・ガスオープンレンジ・カセットコンロなどのガス器具や電熱器など、熱源の露出した器具・卓上電磁(HH)調理器・キッチンフライヤーは使用できません。
- ホットプレート・魚焼き器・グリル鍋など、調理中に多量の湯気・油煙が発生する器具は使用できません。



● 昇降ユニットは両手で昇降ハンドルを持ってゆっくりと出し入れする。

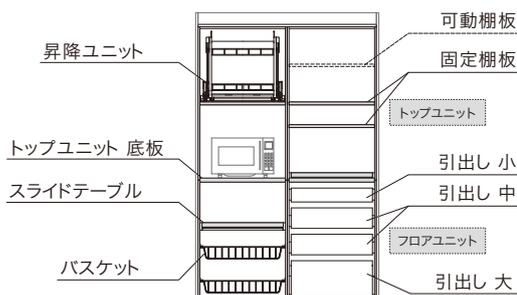
- 室内環境によっては収納内部が結露する場合がありますので、結露が発生した場合は必ず拭き取りよく乾燥させてください。
- ダストワゴンプラスチック製のキャスター付きです。床材は耐キャスター性に優れたものをご使用ください。
- 水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色などが発生するおそれがあります。
- 扉が傾いたり、ガタついているなど、製品に不備がある場合は、施工業者様へ連絡してください。

コンセントを取り付けた場合

- コンセント付近に水の入ったものを置いたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電のおそれがあります。
- コンセントにゴミやホコリが付着しないように、定期的に掃除をしてください。火災・ショート・漏電・感電のおそれがあります。

耐荷重の目安値

右記は耐荷重の目安値であり保証値ではありません。



パーツ	耐荷重の目安値
トップユニット 底板	30kg
固定棚板	30kg
可動棚板・スライドテーブル	20kg
引出し 小・中 (1段目~3段目)	引出し1段あたり 10kg
引出し 大 (4段目=最下段)	引出し1段あたり 20kg
バスケット	バスケット1段あたり 5kg
昇降ユニット	15kg

電子レンジ・電子オープンレンジの設置場所について

電子レンジ・電子オープンレンジは、トップユニット 底板上のみで使用が可能です。

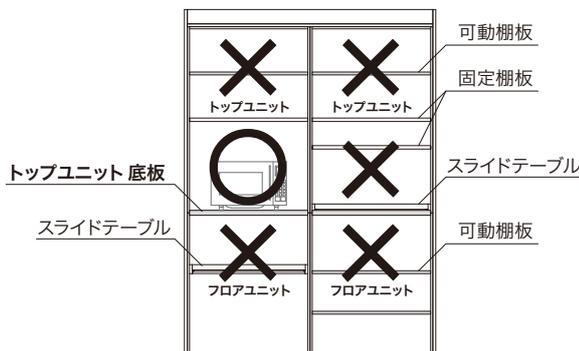
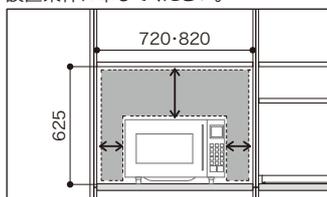
スライドテーブルや可動棚板に載せての使用はできません。

また、ガスレンジ・ガスオープンレンジは [ユニモ2] 内部では使用できません。

注意

トップユニット 底板上に設置し使用する際は、必ずユニット前のアルミ引違戸を開けてください。

※ 離隔距離 (下図) は各家電メーカーの設置条件に準じてください。

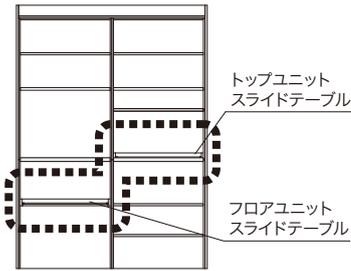


スライドテーブル上の使用機器について

※下記内容は家電・調理機器をスライドテーブル上で使用する場合の制限であり、保管に関しては問題ありません。

以下をご確認いただき、使用できる機器をお確かめください。

OK スライドテーブル上で使用できる機器

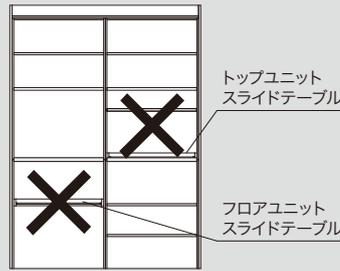


- 電気炊飯器
- 電気ポット
- 電気ケトル
- ミキサー
(フードプロセッサー・ジューサー)
- ホットサンド、ワッフルメーカー
- コーヒーメーカー
- トースター・オーブントースター

ご使用にあたっては、上記 **ご使用上のお願い** をお守りください。

NG スライドテーブル上で使用できない機器

※必ず「ユニモ2」から取り出してご使用ください。



- ホームベーカリー
- ホットプレート
- IH調理器
- ガス炊飯器
- グリル鍋
- カセットコンロ

お手入れ

ユニット部分



● 日常のお手入れ方法

乾いた柔らかい布で乾拭きする。

● 汚れがひどい場合

中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、よく乾燥させる。

アルミ部分



布スポンジなど柔らかいものを使い、洗剤は必ず台所用中性洗剤を薄めて使用してください。

ご注意

- 必ず研磨剤の入っていない台所用中性洗剤を使用してください。その他の洗剤・溶剤などは製品表面の変色や変質、キズがつくおそれがありますので、使用しないでください。
- 洗剤は原液のまま使用しないでください。変色するおそれがあります。
- 金ペラや金属ブラシなどの使用は避けてください。

パネル部分



パネルはキズがつきやすいのでお手入れの際は下記を参考に、十分注意して行ってください。

パネルについているゴミやほこりなどを柔らかいハンドモップなどで軽く払ってください。その後、水で200倍程度に薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を絞り、軽く拭き取ってください。柔らかい布以外使用しないでください。

ご注意

- 必ず研磨剤の入っていない台所用中性洗剤を使用してください。その他の洗剤・溶剤などは製品表面の変色や変質、キズがつくおそれがありますので、使用しないでください。
- 洗剤は原液のまま使用しないでください。変色するおそれがあります。
- クレンザーやタワシ、堅い布は使用しないでください。
- ゴミやほこりが付着したまま拭いたり、パネルを強くこすると、キズの原因になりますので十分にご注意ください。

可動棚板の取り付け

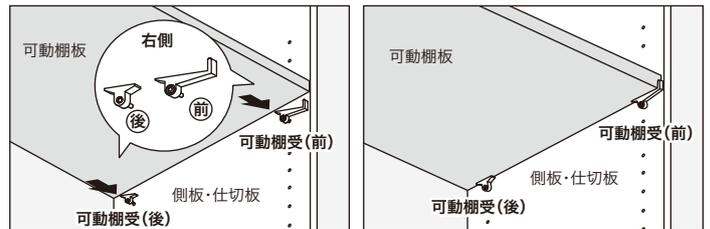
可動棚板を設置する箇所に可動棚受のピンをダボ穴に差し込み、可動棚板をのせてください。

※可動棚受(前)は形状が左右で異なりますので、ご注意ください。

※使用するダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

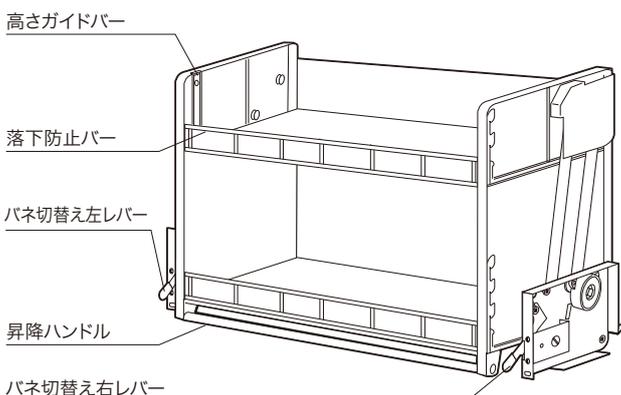
ご注意

トップユニット・フロアユニット共にスライドテーブルの上部の空間には、可動棚板を設置することはできません。



昇降ユニットについて

各部の名称

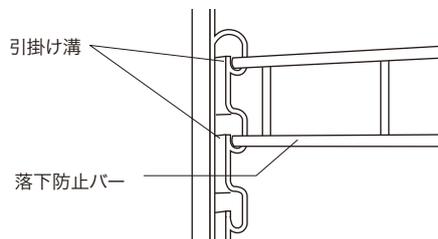


落下防止バーの移動方法

落下防止バーを両手で持ち、上下に移動させてください。
落下防止バーの両端は確実に、引掛け溝に入れてください。

ご注意

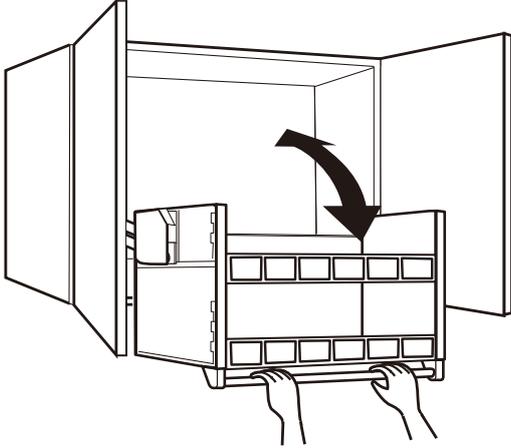
収納物の落下防止のため、必ず落下防止バーをかけてください。



昇降ユニット 昇降方法

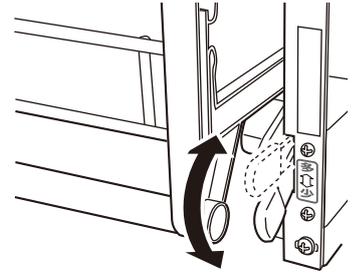
扉を完全に開き、両手で昇降ハンドルを持ってゆっくりと出し入れしてください。

注意 使いはじめの、何も収納物が載っていない時は、バネ切替えレバーは左右とも「少」の位置で引き降ろしてください。それ以外の位置だと操作が重く感じます。



昇降ユニット バネ切替えレバーの操作

下の表を目安にバネ切替えレバーを収納量に応じて調節し適切な範囲で使用してください。また、収納物の出し入れの後には必ず操作性を確認して必要があれば調節してください。



収納重量	レバー	左レバー	右レバー
約0~5kg		少	少
約5~10kg		少	多
		多	少
約10~15kg		多	多

- 衝撃が無く、ちょうど下まで降下する状態がそのレバー設定の限界重量目安です。
- 昇降ユニットが下がっている時には、レバーは切り替えできません。

アルミ引違戸 開閉動作の確認

定期的な動作確認と掃除を行なってください。

上・下レールや扉本体上部の吊車周辺などに、ホコリなどの異物が付着したまま長時間使用すると、上レールや吊車の摩耗の原因となり、正常に走行しなくなるおそれがあります。こまめに清掃を行なってください。

注意 上レールおよびスモーターに潤滑油を塗布しないでください。動作不良を起こすおそれがあります。

アルミ引違戸 スモーターの自動復帰

※スモーターが正常に動作しない場合のみ

1 扉を全閉

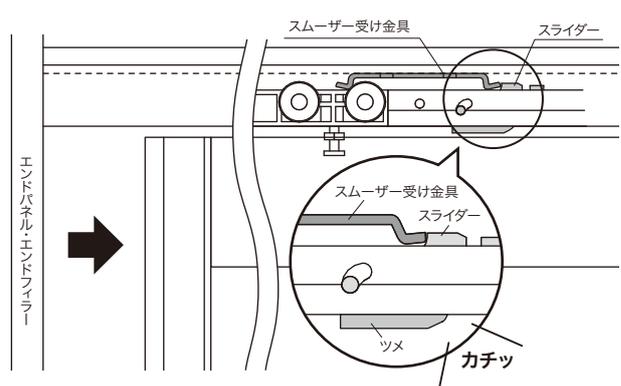
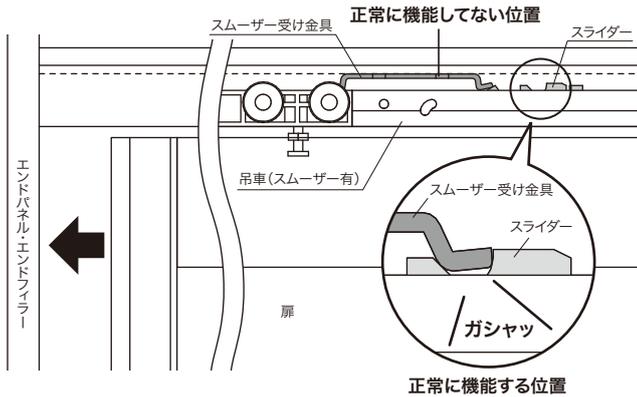
扉を戸先側に動かし、全閉してください。30mm 程手前で一度扉が止まりますが、最後まで閉め切ってください。スライダーがスモーター受け金具を乗り越えるとガシャツと音がします。

注意 必ずエンドパネル・エンドフィラーに当たるまでゆっくりと強く全閉してください。

2 扉を開く

スモーター受け金具が見えるまで扉を開いてください。正常に自動復帰するとカチツと音がし、吊車(スモーター有)下側にツメが出てきます。

注意 開閉はゆっくりと行ない、スモーター自動復帰後は無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。動作不良の原因となります。



3 スモーター自動復帰の確認

扉をスライドさせてスモーターが正しく動作しているか確認してください。スモーターが正常に動作するまで、上記 1・2 を繰り返してください。

